

1 法人の概要

代表者職氏名	代表理事 網 幸太	所管部課名	農林水産部林業木材産業課
所在地	能代市海詠坂1番地の1	設立年月日	平成4年9月17日
電話番号	0185-52-7000	ホームページ	http://www.mokusui.jp
主な出資(出捐)者	出資(出捐)者名	出資(出捐)額(千円)	出資(出捐)比率(%)
	秋田県	300,000	50.0%
	能代市	151,000	25.2%
	秋田県木材産業協同組合連合会	21,000	3.5%
	その他229団体	128,000	21.3%
	合計	600,000	100.0%
設立目的	木材高度加工研究所の研究成果を、木材業界へ円滑に移転するための機関として、秋田県、能代市、秋田県木材産業協同組合連合会等の出捐により平成4年9月17日設立。平成7年4月研究所開所時に、同研究所内に併設。平成25年4月公益財団法人に移行。		
事業概要	○情報収集提供事業 ○技術指導・移転事業 ○啓発研修事業 ○依頼試験事業		
事業に関連する法令、県計画	第2期ふるさと秋田元気創造プラン、秋田県林業・木材産業構造改革プログラム		

2 H26年度事業実績(前年度評価を踏まえた取組内容を含む。)

○情報提供事業: 情報紙発行3回、講演会開催等1回 ○技術研修事業: 研修会開催2回、視察研修1回 ○技術指導移転事業: 技術相談85件、現地指導3社、企業訪問108回 ○依頼試験等事業: 依頼試験56件 ○木を学ぶ建築講座開設事業3回 ○乾燥技術力向上支援事業: 指導企業9社

<事業目標>

項目	区分	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
企業訪問・指導件数(件)	目標	120	120	100	88
	実績	123	121	116	-
依頼試験件数(件)	目標	90	70	50	60
	実績	57	57	56	-
顧客満足度指数	目標	85	85	85	85
	実績	86	91	90	-

3 組織

①役員数(H27.7.1現在)

(単位:人)

区分	理事		監事		評議員		役員報酬
	H26	H27	H26	H27	H26	H27	
常勤	1	1					支給対象者 (H26年度) — 人
内、県退職者							
内、県職員	1	1					平均年齢 — 歳
非常勤	6	7	2	2	5	4	
内、県退職者	2	2					平均報酬年額 (H26年度) — 千円
内、県職員					1	1	
計	7	8	2	2	5	4	
内、県関係者	3	3			1	1	

②職員数(H27.4.1現在)

(単位:人)

区分	H26	H27	正職員
正職員			
内、県退職者			
出向職員	3	1	平均勤続年数 — 年
内、県職員	2	1	
臨時・嘱託	3	4	平均年収 (H26年度) — 千円
内、県退職者			
計	6	5	
内、県関係者	2	1	

③理事会回数

平成25年度	4	平成26年度	4
--------	---	--------	---

4 財務

①正味財産増減計算書

(単位:千円)

区分	平成25年度	平成26年度
経常収益	30,293	18,051
基本財産・特定資産運用益	7,702	9,553
受取会費・受取寄附金	150	50
受託事業収益	5,057	1,577
自主事業収益	4,448	6,189
受取補助金・受取負担金	2,252	1,927
その他の収益	10,684	△ 1,245
経常費用	22,764	21,941
事業費	19,426	17,919
管理費	3,338	4,022
人件費(事業費分含む)	16,477	17,361
当期経常増減額	7,529	△ 3,890
経常外収益		
経常外費用	82	82
当期経常外増減額	△ 82	△ 82
当期一般正味財産増減額	7,447	△ 3,972
当期指定正味財産増減額	35,740	29,229
当期正味財産増減額合計	43,187	25,257

②貸借対照表

(単位:千円)

区分	平成25年度	平成26年度
流動資産	10,724	6,393
固定資産	635,884	665,114
資産計	646,608	671,507
流動負債	849	489
短期借入金		
固定負債		
長期借入金		
負債計	849	489
指定正味財産	635,740	664,970
うち基本財産充当額	635,740	664,970
一般正味財産	10,019	6,048
うち基本財産充当額		
正味財産計	645,759	671,018
負債・正味財産計	646,608	671,507

(単位:千円)

退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率(%)
----------	------	-----	--------

<主な経営指標>

項目	算式	平成25年度	平成26年度	H25-26増減
経常収支比率	経常収益÷経常費用×100	133.1%	82.3%	△ 50.8%
流動比率	流動資産÷流動負債×100	1263.1%	1307.4%	44.2%
自己資本比率	正味財産計÷負債・正味財産計×100	99.9%	99.9%	0.1%
有利子負債比率	有利子負債÷正味財産計×100			

5 県の財政的関与の状況

(単位:千円)

区分	平成25年度	平成26年度	支出目的・対象事業概要等
年間支出			
補助金	328	0	秋田の木・販売促進等支援事業
委託費	1,336	1,577	木を学ぶ建築講座開設事業、乾燥技術力向上支援事業
指定管理料			
年度末残高			
貸付金			
損失補償			
その他の財政支出(基金等)			

I 自己評価

1 公共的役割	2 組織体制	3 事業実施	4 財務状況
A 木高研の研究成果の普及、技術指導及び県の木材関連施策を推進する公的役割を一定程度果たしている。木材需要の多様化等に迅速に対応していくためには、きめ細かな業界ニーズの把握と木高研との連携強化が一層必要である。	B 理事会が必要数開催されている。役員が常駐し、技術専門職員が配置されている。	A 提供サービスの質・量を測るための目標を設定し、各実績値が目標値を上回っている。	B 経常収支の均衡を図るため、特に収益事業である依頼試験事業の収益増と安定化を図る必要がある。

II 所管課評価

1 公共的役割	2 組織体制	3 事業実施	4 財務状況
A 木材高度加工研究所の研究成果を木材業界に円滑に移転する機関としての役割を果たしている。また、県の「第2期ふるさと秋田元氣創造プラン」に定める、木材産業関連の施策の推進を担う機関として重要な業務を実施している。	B 理事会、評議員会ともに必要回数開催されており、役員も常勤し必要な職務に対応できる職員も配置されている。なお、現在1名の充て職者が就任している。	A 顧客満足度調査結果等に基づく目標設定をしており、各設定項目について数値目標を達成している。	B 経常費用は前年比△823千円となっており、コスト削減の取組効果は認められるものの、経常収支は3,890千円の赤字となっていることから、依頼試験等の事業収益増加に向けた更なる取組により、早急に財政基盤の安定化を図る必要がある。

III 外部専門家のコメント

- ・自主事業収益、基本財産運用益の増加があったものの、それ以上に受託事業（3事業）が剥落したことによる受託事業収入の減少が大きく、また基本財産である投資有価証券の売却損もあって経常増減額は△3,890千円（売却損を除いた場合は△2,645千円）となった。前期は投資有価証券売却益による一過性の黒字であり、これを除外した実力ベースの経常収支は△3,154千円であったことから、実質的には連続赤字である。
- ・剰余金である一般正味財産残高はH27年3月末で6,048千円まで減少しており、現状のペースでは数年で指定正味財産に食い込む可能性が高いことから、財務基盤は安定しているとは言えない。
- ・自主事業収益の増加等、抜本的な取組によって早期に収支均衡可能な体質へ転換することが望まれる。

IV 委員会評価

1 公共的役割	2 組織体制	3 事業実施	4 財務状況
A 三セクの行動計画では、県が実施すべき事業を主たる事業とする法人に位置付けられている。秋田県林業・木材産業構造改革プログラムの木材産業分野における関連事業を実施しており、県施策における協働事業体としての役割は大きい。	B プロパーの正職員がいない上に、三セクの行動計画の共通的な取組である「充て職廃止」が未実施である（評議員1人）。	A 良好であると認められる。	C 収支均衡を達成できない（実質赤字の）状況が続いており、現状のままでは、数年後には、基本財産取崩しの事態となる可能性がある。企業からの依頼試験による収益増を図る必要があるが、それが見込めない場合は、新たな収益事業の実施を早急に検討する必要がある。

OH27年度重点取組法人に 選定 する しない